

## Alto Saxophone

原川 誠司 *Seiji Harakawa*



熊本市出身。15歳の時Saxophoneを始める。福岡で活動していたMark Isbell氏に師事。大学卒業後に地元企業に一旦就職するがミュージシャンを志し、2005年にアメリカ・ニューヨークへ。テナーサクソ奏者のJoel Frahm氏からレッスンを受け、田井中福司氏とのセッションなどで経験を積む。

5年半のニューヨーク生活を終え、2010年秋に帰国し活動拠点を東京に移す。2011年の秋より日本を代表するクインテット、小林陽一&ジャパニーズジャズメッセンジャーズ(JJM)のレギュラーメンバーとなり、「I Miss You」「No No No No」「Sounds Good」の3作品のレコーディングに参加。2019年末に小林陽一&JJMを退団。2020年2月には待望の自身1stアルバム「Skipping Down The Street」をリリース。都内のbfJazzSchool講師。

## Drums

田井中 福司 *Fukushi Tainaka*

1954年11月生まれ、滋賀県出身。高校生の時、ロックバンドでドラムを叩いたのがきっかけで、ジャズに関心を抱く。高校卒業後上京、ヤマハライトミュージックで、ジョージ大塚(ds)に強い影響を受ける。その後、横山静子(p)、渡辺香津美(g)、向井滋春(tb)、井上淑彦(ts)、金沢英明(b)等と共演。ジャズクラブ「ピットイン」や「タロー」でも演奏した経験を持つ。

更なるステップに挑戦する為に、1980年アメリカへ。現在、ニューヨーク在住。ニューヨークではヴィレッジ・ヴァンガード、ブルーノート、ヴィレッジ・ゲート、スウィート・ベイジル、バードランド、スモーク、ディージェズ・コココーラ、ジャズ・スタンダード、ジャズ・ギャラリー、イリディウム、ショーマンズ、レノックス・ラウンジ、キタノ、ファット・キャット、その他に出演。過去に共演したミュージシャン達は、ジュニア・クック(ts)、アーネット・コブ(ts)、ジミー・ヒース(ts)、ディジー・ガレスピー(tp)、ウディ・ショウ(tp)、ジュニア・マンズ(p)、ジョージ・ベンソン(g)など多数。なお、留学の為にアメリカへやってくる日本の若手ミュージシャンに対し、様々なアドバイスを与えるなど、彼らの成長を支えている。



## Base

金森 もとい *Motoi Kanamori*

1983年生まれ、京都府出身。ピアニストの母を持ち、幼少時から音楽に慣れ親しむ。高校時代にアメリカ合衆国に留学。現地の高校Las Lomas High Schoolに通い、様々な音楽に触れる。同校で知り合ったBassist John Gilesの影響でベースを始める。また、吹奏楽部に所属しホルンを担当する。様々な音楽的経験を積み、帰国後2003年に国立群馬大学に入学。ジャズ研に入ったのをきっかけにコントラバスへ転向しジャズベーシストとして活動を始める。

2007年3月に群馬大学を卒業し、上京。2007年4月に東京工業大学大学院に入学。2009年3月に同校を優秀な成績で卒業するが、在学中より素晴らしい仲間恵まれ音楽に魅了されジャズベーシストを志す。また、在学中より演奏活動を積極的に行い演奏経験を積む。現在までに山本剛氏(pf)、天野昇子氏(vo)、Hakuei Kim氏(pf)、田中裕士氏(pf)、Red Holloway氏(ts)、Jeremy Rose氏(as)、高内春彦氏(gt)、藤井 学氏(ds)、小山太郎氏(dr)、牧原正洋氏(tp)、Alexis Cole氏(vo)、福田重男氏(pf)、石井 彰氏(pf)等と共演。力強いビート感と唄心に定評がある。現在は首都圏を中心に自己のトリオ、様々なユニットで精力的に活動中。

## Piano

田窪 寛之 *Hiroyuki Takubo*

1981年7月3日生まれ。4歳よりピアノを習い始める。中学の頃に、Bill Evansの音楽に出会い、ジャズに興味を持ち始める。クラシックを習う傍ら、ジャズを独学で学び、色々な人との出会いを通じて、高校卒業後、渡米を決意。2000年9月に渡米。ボストンのバークリー音楽大学に入学する。アメリカでのセッションやライブなどの音楽体験が、今現在の自分の音楽の基盤になっている。

2004年、バークリー卒業後、ロイヤルカリビアン社のカリブ海クルーズの客船の中で半年間ピアニストとして演奏活動をする。半年の契約を終えた後、2005年4月に帰国。2009年横浜ジャズプロムナードのジャズコンペティションでグランプリを受賞。ライブを通じて、さまざまなミュージシャンやバンドと関わりながら、自己の音楽性を高めるべく活動している。

